

## 競技注意事項

### 1 競技規則について

本大会は、2016World Para Athletics 競技規則 2016-2017、並びに本大会申合せ事項により実施する。また、競技者は「World Para Athletics 承認競技会における広告規程」（この規定に記されていない広告に関することは IAAF 規定に準ずることとする）を遵守すること。基準を超える商標についてはテープ等で隠すことになるので、その旨了解のこと。

### 2 受付について

「選手受付」は、競技場正面玄関で行う。

### 3 練習について

下記のとおり練習を認める。審判員の指示に従い事故のないよう注意すること。

8月4日(金)午後2時から4時30分、大会第1日目は開門から開会式開始30分前まで、第2日目は開門から競技開始30分前までは、トラックを全面使用できる。ウォーミングアップは、サブトラックでおこなうこと。

フィールド種目については、競技前の公式練習のみとする。

サブトラック内への入場については、コーチ・付添者は選手受付隣に設置するT I Cにてエスコートカードを受け取り着用すること。原則1団体2枚まで貸し出す。

### 4 招集について

(1) 招集所は、第4コーナーゲート付近に設ける（100mスタート側）。

(2) 招集時刻は次のとおりとする。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始時刻の30分前	競技開始時刻の20分前
フィールド種目	競技開始時刻の40分前	競技開始時刻の30分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目を棄権したものとする。

(4) 代理人による点呼は認めない。複数種目に出場する競技者で競技時間が重なる場合は、事前に二種目出場届を招集所競技者係に提出をすること。二種目出場届はT I C（選手受付隣）にて配布する。

(5) 招集所では、ナンバーカード、競技用靴、衣類・カバンなどの商標の確認を行う。

なお、通信機器、携帯音楽プレイヤー、ビデオカメラ等は競技場内持ち込むことはできない。引率者あるいは競技者係に預けること。

また、トラック競技に出場する選手は、腰ナンバーカードを競技者係で受け取り、右腰に付けること。

(6) リレーオーダー用紙は、各ラウンドの招集開始時刻の60分前までに招集所の競技者係に提出をすること。提出するリレーオーダー用紙はT I Cで配布する。

(7) リレー競技においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用すること。

(8) 棄権する場合は、棄権届（T I Cに用意）に必要事項を記入し、直ちにT I Cに提出すること。最初の出場種目を届けなく棄権した者は、それ以降の出場種目も棄権したものとみなす。また、招集に遅れた場合もこれに準ずるので十分注意すること。

## 5 競技場への入退場について

競技場への入退場は、すべて競技役員の指示誘導による。選手の引率者、コーチは入場できない。スターティング・ブロックのセッティングを選手ができない場合は、2016World Para Athletics 競技規則 2016-2017 第 16 条 スターティング・ブロック (IAAF 規則第 161 条)の規定により、招集時に所定のリクエスト・フォームを提出することにより、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することや、競技者がアシスタント同伴でスタート地点に赴き、スターティングブロックを設置することを認めることができる。アシスタントはスターティングブロック設置後、すみやかに競技エリア内から退去しなくてはならない。

リクエスト・フォームは、T I C に用意する。記入の上、T I C へ提出すること。アシスタントを要望する場合は、リクエスト・フォームを 2 部記入の上、1 部はアシスタント用 ID カードとビブス (予定) の受け取りに必要とする。1 部は持参し招集所に提示すること。

## 6 ナンバーカード

胸と背にはっきり見えるように 2 枚のナンバーカードを付ける。ただし、走高跳の競技者はどちらか一カ所で良い。

## 7 競技

- (1) 本競技場は全天候舗装である。スパイクのピンは 1 1 本以内、長さは 9 mm (走高跳・やり投は、1 2 mm) を超えてはならない。また、スパイクの直径は先端近く (少なくとも長さの半分) で 4 mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (2) 4 0 0 m までの種目及びリレー種目のスタートについては、スターティングブロックを使用しなければならない。
- (3) 5 0 0 0 m ・ 1 0 0 0 0 m 競走では下記のとおり制限タイムを設ける。

	ゴール制限タイム	最後の 1 周に入る制限タイム
男子 5 0 0 0 m	2 2 分 0 0 秒 0 0	2 0 分 4 5 秒
女子 5 0 0 0 m	2 7 分 0 0 秒 0 0	2 5 分 3 0 秒
男子 1 0 0 0 0 m	5 0 分 0 0 秒 0 0	4 8 分 3 0 秒

最後の 1 周に入る制限タイムを超えたものは、競技役員の指示により直ちに競技を終了すること。それぞれの制限タイムを超えた場合は、途中棄権とする。

- (4) スタート時のフライングは不正出発 1 回目で失格とする。
- (5) 走高跳において、練習の高さ、競技開始の高さ及び競技開始後の上げ幅については、競技役員と選手が協議の上決定する。
- (6) 跳躍種目・やり投げで、助走のマーキングを競技者ができない場合は、招集開始時刻前までに位置を示す図を提出することにより、競技役員が競技者の代わりに行うことができる。
- (7) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用すること。ただし、やりについては、検定を受けたものについては、使用することができる。検定は、競技開始時刻 2 時間前から 1 時間前までに、用器具庫で行う。検定を行う競技者は T I C に申し出ること。

- (8) 表彰 各種目3位まで、表彰所にてメダルと賞状を授与する。4位から8位までには、賞状を大会本部にて渡す。大会1日目の表彰時間は、会場周辺の交通渋滞が想定されるため、午後4時15分までとし、表彰できなかった種目については、翌日表彰することとする。  
未来アスリートクラスの選手には記録証を発行し、記録証発行所にて渡す。  
賞状・記録証の郵送や再発行は行わないので注意すること。

#### 8 ドーピングコントロールテスト

WPA 公認種目に出場する選手を対象に日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査を実施する。

ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、ドーピング検査員の指示に従ってテストを受ける。テストを受ける競技者は、付き添いを付けることができるので、希望する競技者は連絡先（携帯電話など）を事前に準備しておくこと。

#### 9 抗議

2017年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則第146条による。T I Cにて受け付ける。

#### 10 T I C(テクニカルインフォメーションセンター)

T I Cには以下のものを用意するので申し出ること。

- (1) 棄権届け
- (2) リレーオーダー用紙
- (3) リクエスト・フォーム用紙（スタブロ、跳躍、やり投）
- (4) 二種目同時届用紙
- (5) 投てき道具（やり）検定受付
- (6) 抗議受付
- (7) 写真撮影は届け出が必要となる。岐阜陸上競技協会許可（シール）を100円で購入すること。

#### 11 その他

- (1) 衣類に関わる規則はWPC承認競技会における広告規程に準じる。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。
- (3) 競技会開催中の事故については、応急処置以外の賠償責任を負わない。
- (4) 持ち物は、各自で責任を持って管理すること。
- (5) 届けられた遺失物については大会受付にて保管する。保管期間は8月6日競技終了までとする。
- (6) 熱中症の予防のため、十分な準備をすること。
- (7) メイン競技場フィニッシュ付近とサブトラックに、エイドステーションを設置するが、飲み物はその場で飲むこと。
- (8) スタンドを含み競技場内での応援用のぼり、旗等の掲出・展示は認めない。
- (9) ゴミは各自で持ち帰ること。